

地域おこし協力隊が行く

Vol.02

July 2017



3年目 佐藤 照友旭です

最近の活動を3つ紹介します。

- ①1月から毎週火曜日午後4時からFMとうみ「103協力隊活動中」の番組を協力隊で分担。

色々なテーマや市内在住のゲストをお呼びして地域情報を発信。番組が再構成され、違った視点で情報発信ができたと感じています。

- ②3月中旬に都内の大学生と保育園児、小学生との交流事業を計画し実施(下写真)。市報4月号の表紙のように、からだを使った教育現場への介入も新しい試みの一つでした。今後も継続的に計画していきたいと考えています。
- ③湯の丸にランニングロードの施設整備が始まりました。標高差を活かした町づくりには欠かせない観光ツールに期待しています。



今月の
クローズアップ!!

みんなどうしてる?

菊地夏代隊員の活動拠点は、田中駅前「観光情報ステーション」。「おさんぽとうみ」夏号の発刊に向けて、



取材&編集中心。「とうみ市」の夏バージョンも計画中です。雷電まつりに向け、「Tomi to me」が流れたら自然に体が動きだすように、猛レッスンする!と熱く語っています。

谷貴人隊員は、身体教育医学研究所で健康づくり支援を担当。隊員の中で最年少の24歳。親しみやすいお兄ちゃんキャラは、奈良原「四季の森」の「里山探検」で全開～!「子どもも100%で遊ぶし、ボクも100%で遊んでる」と話します。「里



山探検」の対象は、1歳～小学校高学年。問い合わせは、里山探検事業事務局 ☎61-6148へ。

森健太郎隊員と有賀慎吾隊員は、天空の芸術祭事務局で活動中。6月上旬に実行委員会と、地域住民、東京芸術大学、東京工業大学デザインチームがミーティングを実施。今年の芸術祭コンセプトは「生活は芸術だ」に決まりました。



カメラ女子with巨ん太くん

取材して、翌日のfacebookにアップする「自転車操業」が、せっちな大阪人気質にぴったり。なので、仕事はもっぱら東御市 facebook 作成。

初めは、スマホで撮影していたけれど、起動が遅くシャッターチャンスを逃すことが多く、デジカメを購入。しかし、チャレンジデー取材で子どもの動きにシャッター速度がついていけず、フラストレーションMAX。で、一眼レフに。なんでもかんでもオートフォーカスで撮影しているわりに、見苦しくない写真が掲載できていると思いますが、いかがでしょう。

取材のお供は、巨ん太くん(巨峰の王国祭りのキャラクター)。

標高1700mで霧に巻かれたり、子どもたちにもみくちゃんにされたり、田植えの泥を飛ばされたりかわいそうな思いをさせましたが、ワイン王子や、人気シェフ、美人車掌さん等々とのツーショットというラッキーな経験も。今や満身創痍の巨ん太くん。近日中に、雨にも負けないラミネート加工の巨ん太くんにバトンタッチする予定です。(カメラ女子ならぬカメラおばちゃん、山本佳子)

